

令和2年度 日本遺産「桑都物語」推進協議会事業実績

◇地域文化財総合活用推進事業【文化芸術振興費補助金(国庫補助事業 補助率 100%)】

1 人材育成事業(決算額 785,980 円)

事業名	内容	
<p>「日本遺産 PR 部」人材育成</p>	<p>当地域周辺で歴史イベントなどの活動を行っている団体「武者所」と連携し、認定ストーリーや構成文化財の魅力在市内外に周知することを目的に、歴史文化の魅力を継続的に発信する人材を育成し、PR集団を形成する取組を開始した。 全4回(各回 15~20 名参加) &lt;令和3年度継続&gt;</p>	
<p>森林パトロール隊人材育成</p>	<p>高尾山をフィールドに自然体験や環境保全などの活動を実践している「八王子森林パトロール隊」の有するノウハウを活かし、構成文化財である高尾山や日本遺産に興味を持つ子どもたちが、日本遺産認定ストーリーや高尾山の文化的価値を広く発信できるようになるための人材育成の取組を開始した。 全6日間(小学生5名が参加) &lt;令和3年度継続&gt;</p>	

2 普及啓発事業(決算額 5,218,970 円)

事業名	内容	
<p>日本遺産 桑都・八王子展</p>	<p>八王子にゆかりのあるアーティスト10名に構成文化財をテーマにした作品の制作を依頼。その作品を展示するとともに、構成文化財と作品を紹介する小冊子を作成し、普及啓発を図った。</p> <p>高尾599ミュージアム 令和3年3月6日～12日 (延べ613名)</p> <p>セレオ八王子(令和2年度は準備) 令和3年4月1日～9月30日</p>	
<p>いちよう祭りパネル展示</p>	<p>構成文化財を含めて設定したモバイルスタンプラリーを開催した「いちよう祭り」の期間中、市内2か所において日本遺産のパネル展示を行い、認定ストーリー及び構成文化財の普及啓発を図った。</p> <p>期間:令和2年11月1日～30日 場所:まち・なかギャラリーホール (期間中来場者:約900名) 陵南いちよう会館 (同:約3,000名)</p>	

日本遺産  
ウォーキングイベント

桑都の歴史を語る上で重要な構成文化財である絹の道をテーマに、古街道研究家の宮田太郎氏のガイドにより、八王子の中心市街地から横浜へとつながる歴史文化の魅力を探索するイベントを開催し、認定ストーリー全体の普及啓発を行った。

全3回

2月20日 片倉～多摩境(17名)

3月 6日 町田(16名)

3月13日 荒天のため座学(18名)

<令和3年度継続>



3 調査研究事業(決算額 4,558,356 円)

事業名	内容	内容
<p>地域における「日本遺産」の活用に関する調査研究</p>	<p>「東京都立大学」との連携により、日本遺産の有効な活用方策やブランディング戦略、今後必要となる観光コンテンツに関する研究を実施した。</p> <p><b>【連携先】</b> 東京都立大学都市環境学部 観光科学科 川原晋教授</p>	
<p>イベント開催に向けた「桑都物語」調査研究</p>	<p>富士吉田市で開催された「ハタオリマチフェスティバル」に深く関わった「装いの庭」に委託し、繊維産業に関する各地の地域活性化の成功事例や、様々な取組を調査研究し、当地域における認定ストーリーの普及啓発や地域活性化につながる、広域連携も視野にいれた今後の取組についての事業提案をまとめた。</p>	

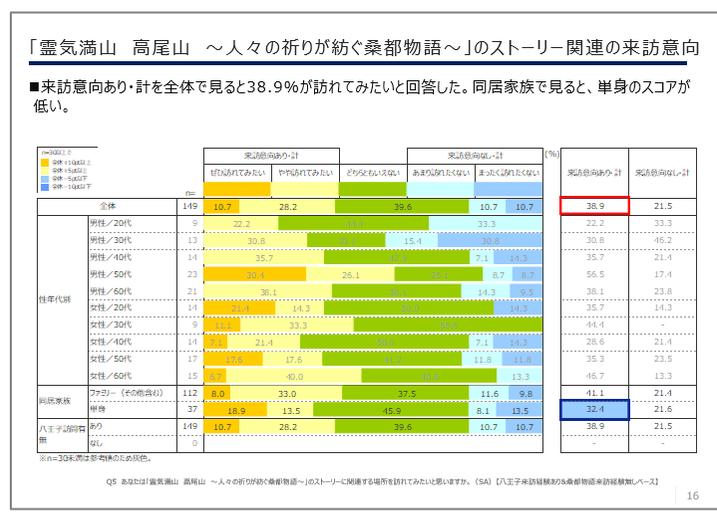
日本遺産の活用に向けた  
マーケティング調査

インバウンド需要も見込んだ、日本遺産に対する興味・関心、訴求性、イメージについての調査を実施した。

■インターネット調査

日本人対象  
関東1都6県/300サンプル  
在日外国人対象

■街頭調査  
関東1都6県/100サンプル  
新宿駅構内/147サンプル



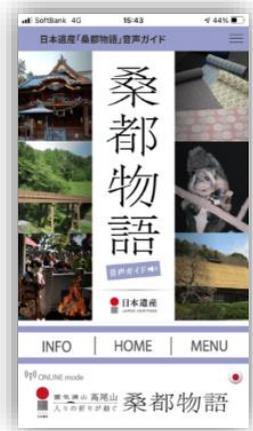
「桑都・八王子」織物のま  
ちのいまと歴史探究

認定ストーリーや構成文化財を磨き上げるため、八王子の繊維産業の歴史に詳しく、全国各地の産地とのつながりをもっている「(株)奥田染工場」により、「桑都」と称され「織物のまち」として発展してきた八王子のまちの歴史と現在に残されている、周辺環境も含めた歴史文化資源を調査し、認定ストーリーの魅力をも高める資料や動画コンテンツとしてまとめた。



◇観光拠点整備事業【文化資源活用事業費補助金(国庫補助事業 補助率 65%)】

1 情報コンテンツ作成事業(決算額 22,852,831 円)

事業名	内容	
<p>ブランド力強化のための 動画制作及び番組放送</p>	<p>認定ストーリーを広く周知するために、「日本遺産」(BS-TBS)の番組を制作するとともに、イベントやSNS等で情報発信するための、英語版を含む動画コンテンツを制作した。</p> <p>■放送:12月27日 ■動画コンテンツ(BD・DVD に収録)</p> <p>15分番組放送版 3分間ダイジェスト版(日/英) 1分間ダイジェスト版</p>	
<p>日本遺産 音声ガイドアプリケーション 制作</p>	<p>認定ストーリーや主な構成文化財等を案内する多言語対応のスマートフォン用音声ガイドアプリケーション(オンライン・オフライン対応)を「(株)夢現舎」に委託して制作した。</p>	

<p>日本遺産「BUNCARD」 製作(印刷)</p>	<p>日本遺産認定ストーリーや構成文化財を周知するために、「(株)第一合成」が取り扱う文化財カード「BUNCARD」の日本遺産版(30種類・Web連携(マッピング)コンテンツ付)を製作した。</p>	
<p>ポスター・リーフレット ・横断幕等製作</p>	<p>認定ストーリーや構成文化財の魅力を発信するための、新たなリーフレット(多言語対応)やポスター、横断幕を製作した。各所での設置、配布を順次始める。また、イベント等における資料等の配布時に活用するクリアファイルやエコバッグを製作した。</p>	
<p>イベント出展ブース用 ディスプレイ製作</p>	<p>各イベント参加に活用する出展ブース用のディスプレイを「(有)シーズ」に委託して製作した。</p>	

2 活用整備事業(決算額 4,129,070 円)

事業名	内容	
<p>日本遺産構成文化財 看板製作・設置</p>	<p>認定ストーリーや構成文化財の紹介、構成文化財への誘導を目的とした、二次元コードにより多言語音声ガイドアプリと連携した案内看板等を、7か所に10基設置した。</p> <p>【設置場所】 八王子城跡(3基)、滝山城跡(2基)、小仏関跡、絹の道資料館、西川古柳座、多賀神社、八幡八雲神社</p> <p style="text-align: right;">&lt;令和3年度継続&gt;</p>	
<p>絹の道資料館活用整備</p>	<p>認定ストーリーの根幹である「桑都・八王子の歴史」や、構成文化財「絹の道」などについての情報を発信する、それ自体も構成文化財のひとつである絹の道資料館において、展示をより魅力的に見せるための照明設備の整備と、来館者を迎え入れるための案内表示等の整備を実施した。</p>	

◇自主事業(補助対象外事業)(決算額 2,491,208 円)

主な事業	内容	
<p>日本遺産センター 導入映像用楽曲制作</p>	<p>「桑都日本遺産センター 八王子博物館(愛称:はちはく)」の入口で上映する日本遺産認定ストーリーのイメージを表現した 1 分間の導入映像(日本遺産編)に使用するための楽曲を、八王子を拠点に世界で活動している音楽家に依頼して制作した。 (Youtube でも視聴可) ■楽曲制作:永井朋生(市内在住)</p>	 
<p>シェアサイクルを活用した 日本遺産の普及啓発及び 意識調査の実施</p>	<p>令和 2 年度に始まったシェアサイクリング(実証実験)のエリア拡大に合わせ、シェアサイクル・アプリ「HELLO CYCLING」を活用したアンケート調査や日本遺産のPRを展開した。 ■設置個所:37 か所 (令和3年3月 高尾駅・八王子みなみ野駅周辺16か所増)</p>	

イベント参加

(日本遺産フェスティバル in  
今治・お城 EXPO・日本遺産  
の日)

「日本遺産フェスティバル in 今治」  
(令和 2 年 10 月 10 日～11 日)、  
「お城 EXPO」(令和 2 年 12 月 19  
日～20 日)にてブース出展を行っ  
た。また、「日本遺産の日」記念シンポ  
ジウム(令和 3 年 2 月 13 日)におい  
て、オンラインで「八王子車人形およ  
び説経浄瑠璃」の実演を行った。

<令和3年度継続>



◇その他(マンパワー事業等)

事業名	内容	
<p>公式 SNS による情報発信</p>	<p>協議会公式 SNS を開設し、旬な情報を発信している。</p> <p>&lt;令和3年度継続&gt;</p>	 <p>桑都物語 Official SNS</p>
<p>演習課題(大学)のサポート</p>	<p>八王子市と連携している大学等において、演習課題で日本遺産を活用する取組をサポートし、学生に対する、日本遺産認定ストーリーや構成文化財、八王子の歴史文化資源の魅力についての普及啓発を図っている。</p> <p>&lt;令和3年度継続&gt;</p>	 <p>(明星大学デザイン学部 学生発表ディスプレイの一部)</p>